

— あすなろ —

今年度は、「楽しみながらいろんな経験ができる場所」をテーマに、利用児・利用者様が安心して過ごせるのはもちろんのこと、様々な活動を通して「楽しい!」「またやりたい!」「もっと居たい!」と思っていただけるあすなろを目指します。新しい活動も取り入れ、笑顔あふれるあすなろになるよう努めていきます! 支援主事：高瀬佳祐



— あすひ —

昨年度もコロナ禍での活動制限はありましたが、毎日楽しく過ごし、利用児・者の笑顔を引き出せるように支援してきました。あすひが、笑顔で安心して過ごせる場所であることはもちろんのこと、子どもたちの得意なことが増えていくよう“課題に挑戦し学ぶ、工夫していく”を今年度の目標の一つとし、個々に適した活動を提供していけるよう、職員一同力を合わせていきます。 支援主任：枝 雅紀



— すぎのこ —

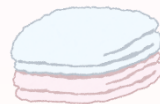
すぎのこ会の歴史が始まり46年。共に歩んできたすぎのこも、一緒に歴史を刻んできました。そのすぎのこの歴史の一部に携わることができてとても光栄です。新生すぎのこへの施設改修が思うように進まず、皆様にはご迷惑をお掛けしていますが、職員全員がより良いすぎのこを築きたいと思っています。利用者、保護者の皆さまが、ますます利用したくなる場所であるよう職員一同、笑顔の絶えない明るいすぎのこを目指していきます。 総括主任：齋藤博明



— みずほの家 —

今年度新しく2名の方が利用開始となり、賑やかなスタートとなりました。昨夏より、作業はリネン作業のみ行うこととなりました。コロナ禍の中で、利用者の方や保護者の方にご心配をおかけしましたが、現在安定した作業の提供ができております。今後も利用者の方に働く喜びを感じて頂けるよう努めてまいります。みずほの家は6月に10周年を迎えます。支えて頂いた多くの皆様に深く感謝いたします。これからもよろしくお願いいたします。

課長：秋山阿津子



— ひまわり —

コロナ禍が続く中、子ども達が楽しく・安全に過ごすことができるよう心掛けて支援しています。休園や休校になることも多く、自宅で過ごす時間が増え、家族で出かけることもなかなかできない…「ひまわりで過ごす時間は、楽しいものであって欲しい!!」その思いのもと、今年度も職員一同アイデアを出し合い、様々な活動、療育を通して子ども達が成長できるよう支援していきます。 支援主任：石澤亜莉沙



— みすぎの郷 —

みすぎの郷は今年で開設8年目を迎えます。ここ数年コロナの影響もあり、看取り期に近づいた入居様が、従来の医療機関への入院ができず、施設で最期を迎えるケースが多くありました。その経験をさせていただく中で、入居様の“人生の結び”について、想いを巡らせることができました。今年度も入居様一人一人が、その方らしく生活を続けられるよう、職員一丸となり邁進してまいります。 課長：齋藤正治



— のあの杜 —

今年度は活動プログラムを一新し、個別療育・集団活動に力を入れて取り組んでいきたいと思っています。また、子どもたちが毎日安心して登園し、楽しく活動できるよう、日々の清掃・消毒の強化、密にならないような工夫をし、新型コロナウイルス感染対策も継続していきます。

支援主任：久保璃歩



— 愛晃の杜 —

昨年から今年にかけて、新しい利用者さんが数名増え、職員も新しい顔ぶれになりました。また今年度より特殊浴槽が整備されましたので、改めて利用者さんの想いに寄り添った支援を行い、1つでも多く心に残る思い出を共有していきます。

総括主任：金子綾乃



— わたすげ —

GHを利用されている方の、生活の場の再編を行いました。一人一人に適した場所の提供をしていきます。また、運動や余暇を充実させ、生活の質の向上を図ることを目標としています。コロナはまだ収まりそうにないですが、今年度も楽しい日常を送れるよう工夫してまいります。

課長：秋場 治



— やまと —

コロナが落ち着かない世の中ですが、今年度も利用者の皆さんと「楽しいこと」「おいしいもの」たくさん見つけられたらいいと思います♪ 介護課、支援課、療育課の垣根を越えた“連携”、地域交流市等を通しての“繋がり”を大切にしていきます。そして、「安心して笑顔で通っていた場所＝やまと」であるために、職員一同、努力を続けてまいります。

支援主任：土屋知美



— 包括すぎのこ —

《相談センター》

今年度、新たな相談員が1名加わり、組織体制の変更もありました。療育・支援指針を常に意識し、「利用者様本人のために」質の良いサービスを継続して提供していきます。そして、各関係機関との連携も強化してまいります。

支援主任：手塚 淳



《支援センター》

利用者様の自宅に伺い、掃除や調理・買い物や通院の付き添いを行っています。時には散歩や外食も一緒に楽しみますが、コロナ禍のために制限されてしまう状況が続いています。一日でも早い終息を願いながら、利用者様に寄り添った支援をしていきます。

支援主事：川田敏江



令和4年度も
どうぞよろしく
お願いいたします



職員リレー (今号はのあの杜です)

愛晃の杜(のあの杜)に勤務し17年、3月に定年を迎え4月より再雇用していただきました。今まで支えて下さった職員、保護者の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。私が入職した当初は児童数も少なく保護者や学校、関係機関に周知を行いながら少しずつ児童数を増やし、今では多くの児童にご利用していただけるようになりました。今後とも個性豊かな児童の100倍パワーに背中を押されながら「笑いあり、涙あり」の充実した日々を楽しんでいきたいと思います。総括主任：高橋洋子(写真中央)



入職して今年で3年目になります。はじめは時短勤務で働いていましたが、すぎのこ会と職場の雰囲気のおかげで魅了され、登用試験を受験して今は正規職員として働かせていただいています。子どもたちの可愛くて優しい笑顔や言葉に毎日助けられながら、同じ方向を見て一緒に悩んで下さる上司や同僚とともに、これからもより良いサービス提供できるように努力していきたいと思います。

支援主事：沼尾奈々(写真左)

平成23年に入職しました。最初は障がいのこと、子どもたちのことで分からない部分がたくさんありましたが、先輩職員に丁寧に教えていただいたことがついでこの前のように感じます。今は主任という立場になり、他の職員に伝えること、教えることの大切さを感じています。今後も職員と連携しながら、「のあの杜楽しい」「のあの杜に通えてよかった」と感じていただけるようなあたたかなサービスを提供していきたいと思います。

支援主任：久保璃歩(写真右)

みんなの部屋



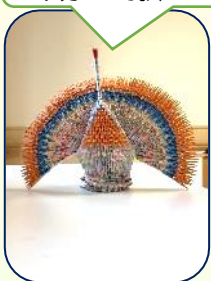
鯉のぼりを作成し、カラフルな色づかいで部屋が明るくなりました。



クレーンゲームでお菓子をゲットしよう！



折り紙を1300枚くらい小さく切って折って作りました。



いつまでも思いやりの心を大切に。

沢山の花の作品が飾られています！



イースターエッグを作りました「かわいいでしょ♡」



平面から立体まで利用者さんが選び、自由に作って頂きました！



利用児、職員でいつも明るく楽しい部屋作りを行っています。



去年度卒業生の卒業制作です。

すぎのこ会を守る



コロナ感染の終息が見えない中で、数年に渡り、対策、対応に追われて大変だったと思います。作業にウォーキング、昼食、入浴、缶つぶしと、コロナの中でも充実した毎日を送れるのも、所長をはじめ職員の方々の細心の心遣いのおかげと思っています。いつの頃からか、息子は帰宅すると、自分で選んで翌日の着替えを用意するようになりました。成長を感じます。今後とも、色々とお世話になりますが、よろしくお願いいたします。

あすひ 保護者 岸 礼子



ボランティア・寄



【ボランティア関係】（順不同）

- ・ヘアサロン セゾン 様
- ・落合 洋子 様



【寄付関係】（順不同）

- ・中村 ミヤ子 様 ・藤野 正勝 様 ・春日 ゆき 様
- ・小島 敏夫、嘉子 様 ・岩崎 俊雄 様
- ・(一社)バンクフォースマイルズ 様
- ・古河電気工業労働組合 日光支部 様
- ・カーブス とちぎおおひら 様
- ・Abakat (アバカット) 様
- ・味噌まんじゅう新井屋 様
- ・すぎのこ会を守る会 様



なんでも掲示板

【みずほの家 ちょっ蔵すぎのこ】

ちょっ蔵では、いつも出来立ての焼きそば・イモフライをご提供しています
(* '▽')電話予約がおすすめです!



電話番号
0282-20-1112

営業時間
11:00~14:00
月~土曜日
※土曜は不定休あり
電話にてご確認ください



【ひのきの杜 療法士 ~パラバルーン~】

手指や腕の筋力トレーニングとして、活動の中でパラバルーンを行っています。

数人で大きな布を動かすため、みんなで声を掛け合うことで協調性を高めることにもつながります。

自分で布を持つことが難しい利用者にとっても、カラフルな布が動く様子や空気の動きを感じて、感覚的な楽しみとなっています。

※パラバルーンとは…
パラシュートとバルーンをかけ合わせたもので、大きな丸い布をみんなでタイミングを合わせて動かす遊びです。



【すぎのこ ~さをり織り~】

さをり織りです。
みなさん、
お仕事頑張っています。



手順を間違えないで
頑張っています!

こんなマフラーが
できました。

すてき♡

